

厚生労働省電子的医療情報  
標準的連携推進事業  
**SS-MIX**

浜松医科大学医療情報部  
木村通男



静岡県版電子カルテシステム  
経緯



- ⌘ H16/1 土居理事から打診
- ⌘ 病院情報システム(医事系、オーダ系)は各病院で購入するが、その先の各部品ソフトウェアは無償配布
- ⌘ ペーパーレス電子カルテは必須とせず、紹介状の電子化、患者への情報提供、定型文書作成支援、臨床情報データベースを主眼とする
- ⌘ 2年にわたり、8回の検討委員会、4回の説明会、6回の個別相談会。

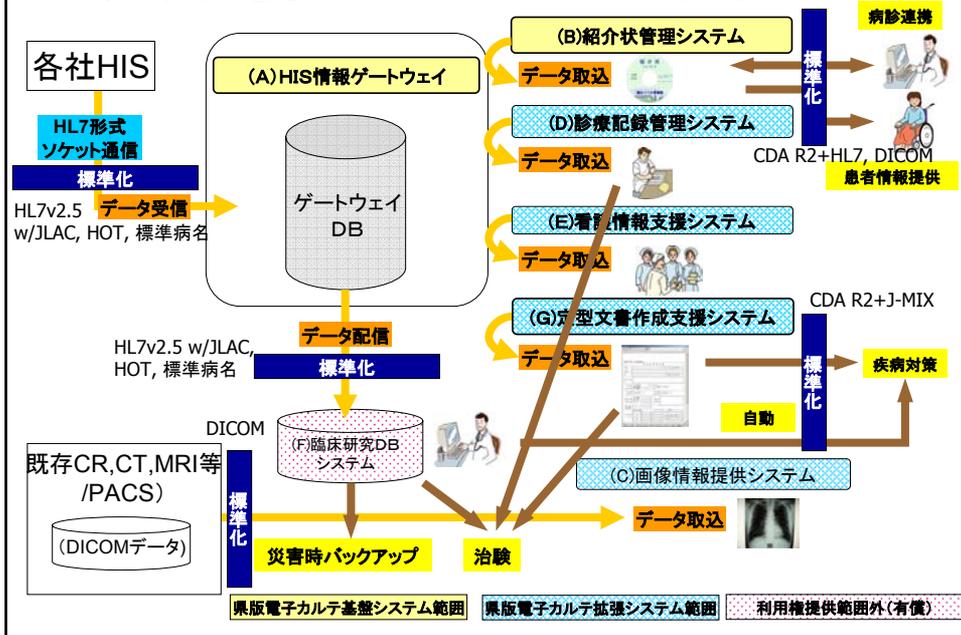
# 静岡県版電子カルテシステム 経緯(続)



- ⌘ 2年で5億円(県H16補正予算)
- ⌘ 受注者決定(H17/1)
  - ☑ 富士通、NEC、SBS情報システム、NTTデータ、ソフトウェアサービスの5社コンソーシアム
- ⌘ 2モデル病院がH17/1に実運用開始
  - ☑ 部分導入可(但し電子紹介状は必須)
  - ☑ 各社病院情報システムは各種オーダ内容、各種結果をHL7 v2.5(=ISO規格、JAHIS標準)で出すことができれば、他社の病院情報システムでも接続可能
  - ☑ 標準ストレージを持つ病院は20を越える。

Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

## 静岡県版電子カルテシステム 概念図





診療情報提供書 (患者紹介)

2007年3月23日

医療機関  
初夢クリニック 内科  
医療機関名 コンベンション医療センター 内科  
所在地 〒420-0011 静岡県静岡市葵区追手町1-1  
電話番号 054-221-2406  
医師氏名 富士藤 茄子

担当医  
初夢 太郎 殿  
〒003-0007 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1番1号  
TEL 011-XXXX-XXXX

患者氏名	駿河 葵	生年月日	1952年7月17日	性別	女
------	------	------	------------	----	---

紹介目的 胃潰瘍投薬治療後の経過観察

現疾患(診断内容) 胃潰瘍

現在の処方(現投与) MSコンチン錠 10mg 2錠 1日2回 12時間毎 内服 7日分

身体歴 身長:170cm、体重:48kg

検査項目	単位	2003年3月3日	2003年3月4日	2003年3月5日	2003年3月7日	2003年3月12日	2003年3月17日	2003年3月19日	2003年3月20日	2003年3月21日	2003年3月22日	2003年3月23日
TP	g/dl	7.6		5.8			7.0	4.6				6.4
ALB	g/dl	3.7		3.0			3.3	2.2				
A/G比		0.95		1.07			0.89	0.92				
ZTT	K-U			7								
GOT(AST)	IU/L	39		18	26		27	10	22			

グラフの設定

## (D) 診療記録管理システム

### 診療記録の記載 画面例



SOAP

プロブレムの選択

シェーマ・スタンプによる簡便な入力機能

テンプレート形式 XMLエディタ

テキスト形式

登録したプロブレムがリストで表示されます。プロブレムを選択することにより、POSIに基づいた各S・O・A・Pを入力します。SOAPの記述には、以下2通りの入力方法があります。

★ テンプレートを展開することで、入力の簡便化、記述内容の統一、入力データの活用(統計等)、が行えます。

★ フリーテキスト入力による、定型では補えない表現の入力が行えます。

# (E) 看護情報支援システム 看護情報支援システム基本 画面例



su University School of Medicine

# (F) 臨床研究DBシステム

## 患者基本情報表示機能 画面例



### 患者詳細情報

患者基本情報

患者ID: 2A01000001920101 患者名: WDC

性別: 男性 年齢: 74歳

検査結果一覧

2003/01/22 血液検査 白血球 10.0

2003/01/24 血液検査 白血球 10.0

2003/01/26 血液検査 白血球 10.0

2003/01/28 血液検査 白血球 10.0

検査条件設定

検索条件: WDC, TP, UA, GH, ALB-U

### 検査結果グラフ

検査項目: WBC, RBC, MCV, MCH

単位: /MM3

基準範囲: WBC 4400-9900, RBC 387-500, MCV 86-98, MCH 31.6-32.9

サマリー表示

患者ID: 2A01000001920101

検査項目: WBC, RBC, MCV, MCH

結果: WBC 4400, RBC 387, MCV 86, MCH 31.6

MICHIKO KIMURA M.D., PH.D., HAMAMATSU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE

# (G) 定型文書作成支援システム

## 定型文書作成 画面例



(A) 情報ゲートウェイを介して取得した情報を自動表示  
 ※導入オダ種に応じて取得できる情報は変化します。  
 例では患者基本・病名オダより取得しています。

作成したデータはビューワ機能を用いて出カイメージを確認できます。

(A) 情報ゲートウェイを介して取得できない情報はワープロ入力、若しくは選択式入力 (ラジオボタン・ドロップダウンメニューなど)

Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

平成 17 年 12 月 31 日午後内示

標準的電子カルテ情報交換システム開発委託

103,564千円



厚生労働省の標準的電子カルテ  
 情報交換システム開発委託(平成  
 18年度予算)  
 委託先：静岡県

### (要求理由)

電子カルテシステム普及の過程で、システム間の相互運用性の不足や医療施設間の情報連携のための標準化の必要性等が指摘されたことを受けて設置された、標準的電子カルテ推進委員会における最終報告において「診療情報提供者等の医療用の定型文書情報HL7 V3のRIM (Reference Information Model) 準拠のJ-MIX (Japanese set of identifiers for Medical record Information Exchange : 電子保存された診療録情報の交換のためのデータ項目セット) をベースとし、国際標準規格となる予定のHL7 CDA R2 (Clinical Document Architecture Release 2) にも準拠させることが、今後推奨される」と提言された。

医療の質や患者の利便性向上につながる情報連携の実現に向け、すでに診療情報等の電子化が進んでいる医療機関に配慮しつつ標準規格を進め、かつ今後導入する医療機関等に対しては標準規格に則したシステムの普及を図るためには、上記の標準規格に準拠させるツールの開発・普及が必要である。

標準規格に則り継続的な診療活動の基盤となる情報の交換・共有に適した形式で情報提供を行うことは、無誤円滑に必要であることのみならず、患者に対してわかりやすい診療情報の迅速な提供が可能となり、患者サービスの向上が期待できる。

### (業務内容)

平成 16 年度より、静岡県内の医療機関間の診療情報交換を推進するために開発が進められている電子カルテシステムは、国が実施した標準的電子カルテ推進委員会や日本医療情報学会が示す方向性や国の研究事業の成果等も踏まえ、国の施策の趣旨を忠実に反映していることから、当該システムの長所を認め医療施設間の情報連携のための標準化を推進するため、国際標準規格に準拠した医療用の定型文書情報 (診療情報提供者等) の入出力を可能とするインターフェイス等の開発を静岡県と共同で行う。

(委託先) 静岡県

(事業費) 103,564千円 (うち静岡県委託額 88,029千円)

(事業期間) 平成 18 年度

「厚生労働省電子的情報交換推進事業」  
(**SS-MX: Standardized Structured  
Medical Information eXchange**)



⌘ 無償提供されるもの

☑ 標準ストレージソフト

☑ 患者基本、処方、注射、検査結果、病名登録

☑ CD作成ソフト

☑ 電子紹介状、患者への情報提供

☑ アーカイブビューア

☑ 紹介状や画像CD連携部で受け取り、院内ネットで医師が見える

⌘ 有償のもの

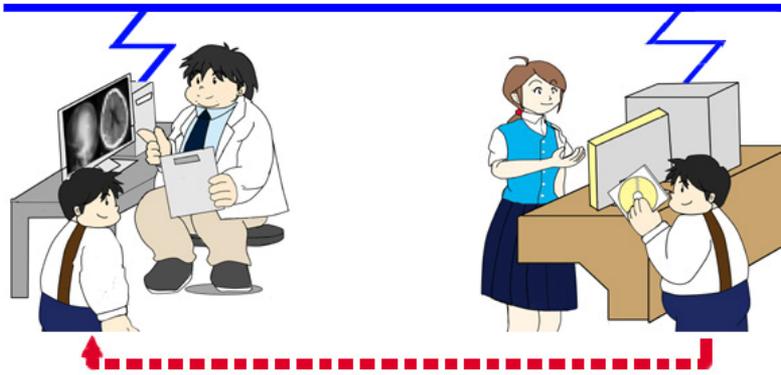
☑ ハードウェア、インストール・接続作業

Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine



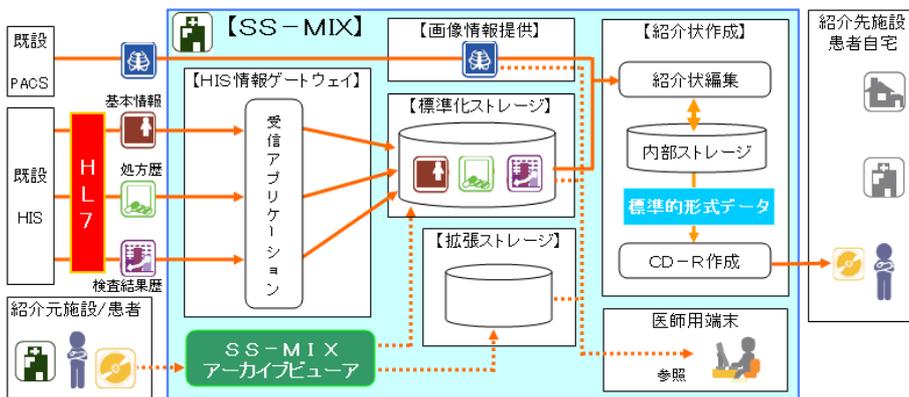
Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

病診連携部で受け取り、消毒、  
 外来ではブラウザで参照  
 (SS-MIX アーカイブビューアとして無料提供)



Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

## SS-MIX概念図



Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

診療情報提供書 2007年09月25日 [診療情報提供書] No.1  
本文 | 処方内容 | 検査検査結果 | 画像参照 | 拡張ファイル参照

### 診療情報提供書 (紹介状)

平成19年5月24日

紹介先医療機関名 初夢クリニック 内科  
所在地 〒903-0035 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目  
担当医 堀野達夫 敬  
医師種別名 コンベンション医療センター 内科  
〒903-0007 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1番1号  
TEL 011-3002-3000  
医師番号 011-011-1010  
医師名 富士鷹茄子

患者氏名	スルガ アオイ	性別	女
患者住所	〒422-8033 静岡県静岡市登呂2-9-4-13		
電話番号	054-000-0000		
生年月日	昭和27年7月17日	(54歳)	

病名・主訴	胃潰瘍
紹介目的	胃潰瘍治療後の経過観察
現患歴	気胸
家族歴	母親：胃癌
現病歴(診断内容)	胃潰瘍
治療経過	平成18年3月8日当科入院。投薬治療。胸部部CT施行いたしました。 投薬治療により、潰瘍が寛癒しました。
現在の処方	ヒスロンH錠 200mg 4錠 1日2回 朝・夕食後 2日分
身体所見	身長：170cm 体重：48kg

DIOWave Visual Storage

Open Form Previous List

4 Studies Found

2007/09/25 10:15 MS000000

#0 [18] Type: 3-pl Loc.

#1 [82] Type: Calibration scan

#2 [19] Type: T2 Ax FINE

#3 [10] Type: T1 Ax FSPGR

#4 [19] Type: T1 Ax FSPGR

#5 [104] Type: 3D Dyn1-2Ph. Enh: 10

#6 [112] Type: 3D Dyn3-4Ph. Enh: Yes

#7 [19] Type: GE T1 Ax F. Enh: Yes

2007/09/21 12:00 N1.000001

#8 [1] Type: F102 Enh: NONE

#9 [17] Type: F022 Enh: NONE

## 浜松医大で受取・作成したCD

	持込CD数	取り込み可能	紹介状CD	患者CD
08/05	34	25		
08/06	74	50		
08/07	76	64		
08/08	68	56		
08/09	76	54		
08/10	89	65	3	
08/11	101	76	32	1
08/12	97	75	24	1
09/01	74	62	38	
09/02	94	80	46	1

	～6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
診療所・医院		2	3	4	2	5	1	17
病院		2	10	9	14	15	14	79
紹介以外		0	0	0	5	4	0	14
計		2	12	12	23	21	15	110

附：袋井市民病院での  
CD発行数

Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

## 診療情報提供料(Ⅰ)

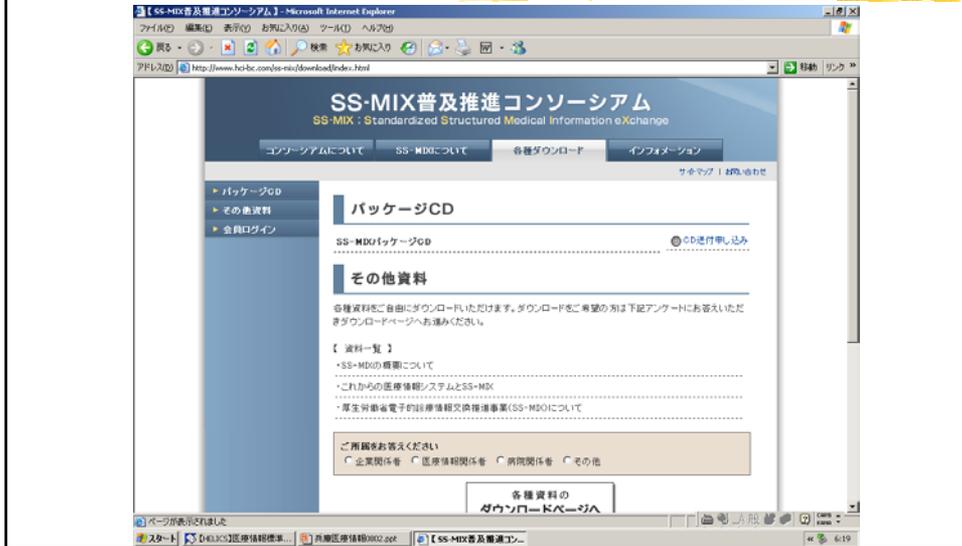
⚡ 7. 保険医療機関が患者の退院に際して、添付の必要を認め、患者の同意を得て、別の保険医療機関等に対して、退院後の治療計画、検査結果、画像診断に係る画像情報その他必要な情報を添付して紹介を行なった場合は、所定点数に200点を加算する。

☑ 「注7」掲げる退院患者の紹介に当たっては、心電図、脳波、画像診断の所見等診療上必要な検査結果、画像情報等及び退院後の治療計画等を添付すること。添付した写し又はその内容を診療録に貼付又は記載すること。

Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

# SS-MIXコンソーシアムから入手

<http://www.hci-bc.com/ss-mix/>

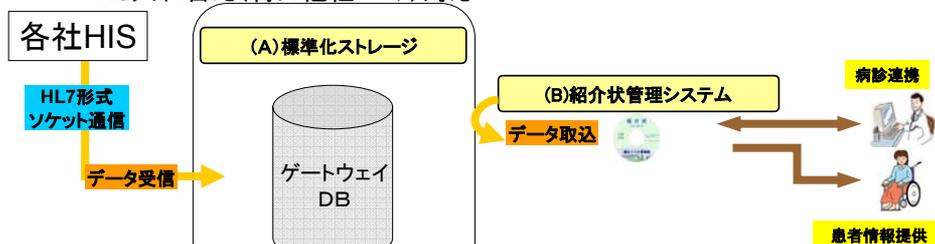


## SS-MIX標準ストレージを利用した 各種アプリケーション

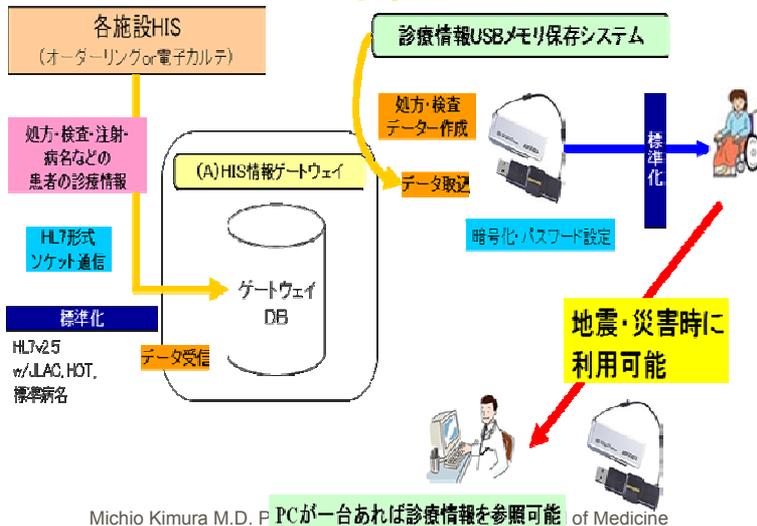


※ 患者基本、処方、注射、検体検査結果、病名登録はHL7 v2.5で持っているので、これを利用して

- ☑ PHR
- ☑ 各種文書作成支援システム
  - ☑ 市販後副作用、保険会社への診断書、感染症報告、県への特定疾患関係
- ☑ 臨床データ検索
- ☑ 部門システムとの連携
- ☑ HIS入れ替え(特に他社への)対応



# 災害時向けUSBメモリへの外部保存実証実験 (静岡県版電子カルテシステムを使用した)概念図



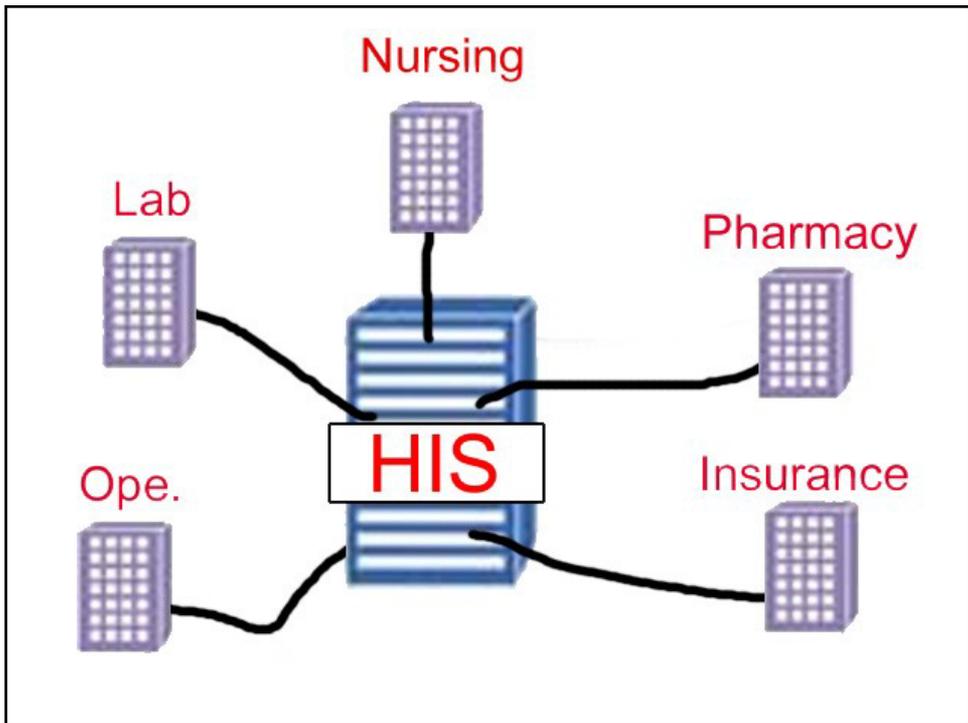
Michio Kimura M.D. P

## 実証実験：於：袋井市民病院 2008-12-05 防災訓練



- ⌘ 5名の模擬患者にあらかじめ指紋認証USBに処方、検査結果を入れて持参してもらう
  - ☑ 患者(あるいは付き添い者)からUSBを受け取り、指紋認証し、データが開くまでの時間: 平均49.7秒





## 日本麻酔科学会：麻酔台帳2006

HL7で検査結果、患者基本を受け取る機能あり



⌘ 浜松医大病院で利用中

- ☑ 平成20年6月から平成21年3月までに約3900件の麻酔申し込みを受け取っている
- ☑ 右の、感染症情報はすでに記載されている。

Michio

# SS-MIXとの連携

✂ ファイルメーカーから患者IDを送ると、患者ID情報、入院日が自動で標準化ストレージから取り込まれる

The screenshot shows a web-based medical system interface with the following sections:

- Navigation:** HOME, 患者一覧 (Patient List), 新規患者登録 (New Patient Registration), 入院患者一覧 (Inpatient List), search, print.
- 患者属性 (Patient Information):** 患者ID (Patient ID), 性別 (Gender: M/F), 患者氏名 (Patient Name), 生年月日 (Date of Birth), 入院時 80 字 (80-character admission code).
- 入退院情報 (Admission/Discharge Information):** 入院日 (Admission Date: 2009/02/26), 退院日 (Discharge Date), 入院時担当医 (Admission Attending Physician: 山下克司), 退院時担当医 (Discharge Attending Physician).
- 手術情報 (Surgery Information):** 手術の有無 (Surgery Status: Y/N), 手術コード生成区 (Surgery Code Generation Area), 手術日 (Surgery Date: 2009/03/10), 手術コード (Surgery Code: 12251), 術式名 (Surgical Procedure Name: 心臓中流吻合[大動脈弁]), 術者名 (Surgeon Name), 術者コード (Surgeon Code).

Michio Kimura M.D. Ph.D. Han

# Report

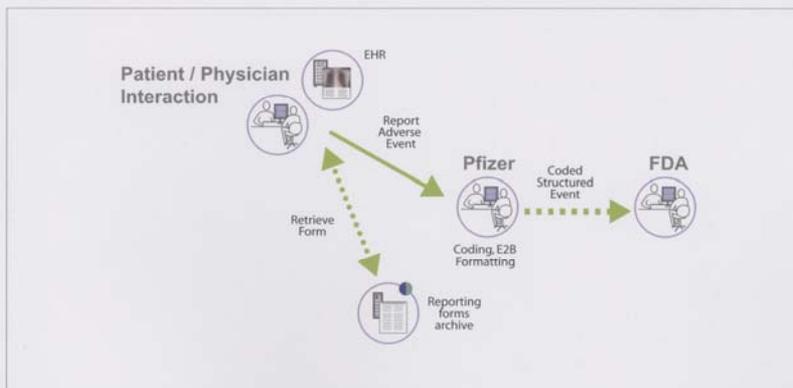
CDISC and IHE  
PROUDLY PRESENT



Drug Safety

Streamlining Adverse Event Reporting

Starring: Pfizer · Allscripts · Sentrx · Relsys · SAS



# 市販後有害事象調査



⌘ 手書きで医師が作成

⌘ しかしほとんどがオーダシステムにあるデータ

- ☑ 該当薬処方歴
- ☑ 併用薬
- ☑ 検査結果



AEReport - Windows Internet Explorer

http://localhost/AEReport/?PID=1014360

患者情報 1014360 [Sunaga Aoi] 患者指定 編集文書指定 新規文書作成

1952/07/17生まれ 女性 患者情報 \*\*\*\*\*TabletsEventReport (00000035) [修正]

処方歴 2008/06/08~2008/09/08

[Page 1] [Page 2] [Page 3] [Page 4] [Page 5] [Page 6] [Page 7]

**[Chemical laboratory results]**

Item	Unit	Reference value	Before medication		Through medication		After medication		Follow up	
			2008/06/08	2008/06/09	2008/07/07	2008/07/15	2008/08/18	2008/09/08		
GOT(AST)	IU/L	8-38	14	21	12	15	14	15		
GPT(ALT)	IU/L	4-43	9	31	10	10	9	10		
ALP	IU/L	110-354	147	169	167	187	147	187		
LDH	IU/L	121-245	139	122	149	185	139	185		
T-Bil	mg/dl	0.2-1.2	0.7	0.4	0.5	0.3	0.7	0.3		
Urea-N	mg/dl	8-22	12	18	13	8	12	8		
Cre	mg/dl	0.47-0.79	0.53	0.55	0.57	0.58	0.53	0.58		
RBC	*10 <sup>4</sup> /μl	379-500	397	401	417	417	397	417		
HGB	g/dl	11.0-15.2	12.0	13.0	13.0	13.0	12.0	13.0		

Abnormal data should be reported in the AE report

検査結果表

検査項目	2008/06/08	2008/07/07	2008/08/18	2008/09/08
GOT(AST)	14	21	12	15
GPT(ALT)	9	31	10	10
ALP	147	169	167	187
LDH	139	122	149	185
T-Bil	0.7	0.4	0.5	0.3
Cre	0.53	0.55	0.57	0.58
T-CHO	212	212	212	212
Ca	8.5	8.5	8.5	8.2
CRP	2.0	0.3	0.3	2.0
TP	6.4	5.8	6.4	5.8
Na	144	140	138	144
K	4.3	4.3	4.7	4.2
Cl	110	104	105	104
RBC	417	397	417	417
HGB	13.6	12.9	13.6	13.0
WBC	6.9	7.1	4.5	6.9
HT	39.5	37.8	39.5	38.3

AEReport - Windows Internet Explorer

http://localhost/AEReport/?PID=1014360

患者情報 1014360 [Sunaga Aoi] 患者指定 編集文書指定 新規文書作成

1952/07/17生まれ 女性 患者情報 \*\*\*\*\*TabletsEventReport (00000035) [修正]

処方歴 2008/06/08~2008/09/08

[Page 1] [Page 2] [Page 3] [Page 4] [Page 5] [Page 6] [Page 7]

**[Adverse Events]**

N  Y → Report in the followings

Severe event number:  
 1. Death  
 2. Threat to death  
 3. Permanent disorder  
 4. Extension of hospitalization  
 5. Other severe events to avoid above situations  
 6. May cause disorder in descendants

Adverse event	Severity	Disposition		Outcome	Relation to this drug
		Medication	Others		
Ca	<input checked="" type="radio"/> Severe <input type="radio"/> Not Severe <input type="radio"/> Slight <input type="radio"/> Not slight	<input type="radio"/> Continue <input type="radio"/> Dose decrease <input type="radio"/> Interruption	<input type="radio"/> N <input type="radio"/> Y	Outcome date: 2008/08/18 <input type="radio"/> Recovery <input type="radio"/> Better <input type="radio"/> Not recovered <input type="radio"/> Recovery with sequel <input type="radio"/> Death <input type="radio"/> Unknown	<input type="radio"/> Apparently related <input type="radio"/> Probably related <input type="radio"/> Possibly related <input type="radio"/> No relation <input type="radio"/> No enough evidence
date: 2008/08/15					
	<input checked="" type="radio"/> Severe <input type="radio"/> Not Severe <input type="radio"/> Slight <input type="radio"/> Not slight	<input type="radio"/> Continue <input type="radio"/> Dose decrease <input type="radio"/> Interruption	<input type="radio"/> N <input type="radio"/> Y	Outcome date: / / <input type="radio"/> Recovery <input type="radio"/> Better <input type="radio"/> Not recovered <input type="radio"/> Recovery with sequel <input type="radio"/> Death <input type="radio"/> Unknown	<input type="radio"/> Apparently related <input type="radio"/> Probably related <input type="radio"/> Possibly related <input type="radio"/> No relation <input type="radio"/> No enough evidence
date: / /					
	<input checked="" type="radio"/> Severe <input type="radio"/> Not Severe <input type="radio"/> Slight <input type="radio"/> Not slight	<input type="radio"/> Continue <input type="radio"/> Dose decrease <input type="radio"/> Interruption	<input type="radio"/> N <input type="radio"/> Y	Outcome date: / / <input type="radio"/> Recovery <input type="radio"/> Better <input type="radio"/> Not recovered <input type="radio"/> Recovery with sequel <input type="radio"/> Death <input type="radio"/> Unknown	<input type="radio"/> Apparently related <input type="radio"/> Probably related <input type="radio"/> Possibly related <input type="radio"/> No relation <input type="radio"/> No enough evidence
date: / /					

検査結果表

検査項目	2008/06/08	2008/07/07	2008/08/18	2008/09/08
GOT(AST)	14	21	12	15
GPT(ALT)	9	31	10	10
ALP	147	169	167	187
LDH	139	122	149	185
T-Bil	0.7	0.4	0.5	0.3
Cre	0.53	0.55	0.57	0.58
T-CHO	212	212	212	212
Ca	8.5	8.5	8.5	8.2
CRP	2.0	0.3	0.3	2.0
TP	6.4	5.8	6.4	5.8
Na	144	140	138	144
K	4.3	4.3	4.7	4.2
Cl	110	104	105	104
RBC	417	397	417	417
HGB	13.6	12.9	13.6	13.0
WBC	6.9	7.1	4.5	6.9
HT	39.5	37.8	39.5	38.3

# 新型インフルエンザ報告書の例

黄色い部分は、自動で取り込める項目

Michio Kimura M.D. Ph.D. Ha

別紙 2

**新型インフルエンザ発生届**

都道府県知事（保健所設置市・特別区長） 宛

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下の通り届け出る

届出年月日 平成 23年 12月 11日

届出の氏名 栗原 洋介 (署名又は名称押印のこと)

職業とする病院・診療所の氏名 聖隷聖医院 (署名又は名称押印のこと)

上記病院・診療所の所在地(市) 静岡県静岡市駿河区(市) 伊豆川1丁目1番1号

電話番号(市) 054-777-1111

(注)病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載

1 診断(検出)した等(検体)の種類	感染症死亡者の検体、感染症死亡者の尿液、感染症死亡者の唾液、感染症死亡者の排泄物				
2 患者の氏名	性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(歳)	6 当該医療機関	
姓	男	昭和28年 12月 12日	66歳( 才)		
7 医師の住所	静岡県静岡市駿河区伊豆川1丁目1番1号				
8 当該患者の住所	静岡県静岡市駿河区伊豆川1丁目1番1号				
9 保護者の氏名	10 保護者の住所	(9. 1の保護者が未成年者の場合のみ記入)			

11 症状(経過)の概要	18 感染症の発生状況、感染経路
・発熱( ) ・鼻汁( ) ・全身倦怠感( ) ・頭痛( ) ・咽痛( ) ・呼吸困難( ) ・その他( )	① 感染原因、感染経路 ( ) ② 発生・発生状況 ( ) ③ 発生状況 ( )
12 診断方法	2 診断結果 ( )
・なし( ) ・迅速検査( ) ・PCR検査( ) ・ウイルス培養( ) ・血清学的検査( ) ・その他( )	3 その他 ( )
13 診断年月日	19 その他感染症のまん延の防止及び自患者の感染のために必要と認めらるる事項
14 診断(検査)した年月日	
15 感染したと認定される年月日	
16 発病年月日( )	
17 死亡年月日	

(1. 3. 11. 12. 17欄は該当する番号等まで記入し、4. 5. 12から17欄は年、月、日を入力すること。  
11. 12欄は、該当するものすべてを記載すること。)

# 日本は病院情報システム先進国



電子カルテでなくても、オーダシステムで、処方、検査結果は持っている

大病院でのオーダの普及率

日本は90%以上、アメリカはせいぜい3割

厚生労働省、経済産業省のプロジェクトのおかげで、大病院の約半分で、HL7形式でのデータ取り出し可能

必要費用はせいぜい数百万

データ形式がバラバラなら1~2000万円

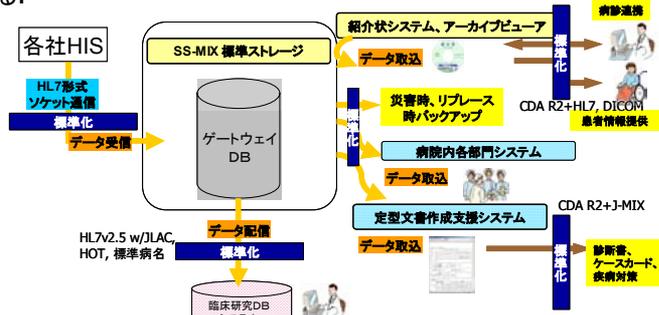
Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

# 病院情報システムから出すデータの標準化： 経産、厚労の事業などの結果、現在、標準機能として HL7 v2.5でデータを出せるHIS機種



- ☑ 富士通: FX(定期バージョンアップで対応), GX
- ☑ NEC: 電子カルテ: HR, オーダ: AD v.4 以降
- ☑ SBS: Doctor-X, PrimeKARTE
- ☑ ソフトウェアサービス: e-Karte

※ これらは2006年以降に出荷されており大中病院では、すでに50%以上がSS-MIXに簡単に接続できる。



Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

## 浜松医大での ストレージ運用

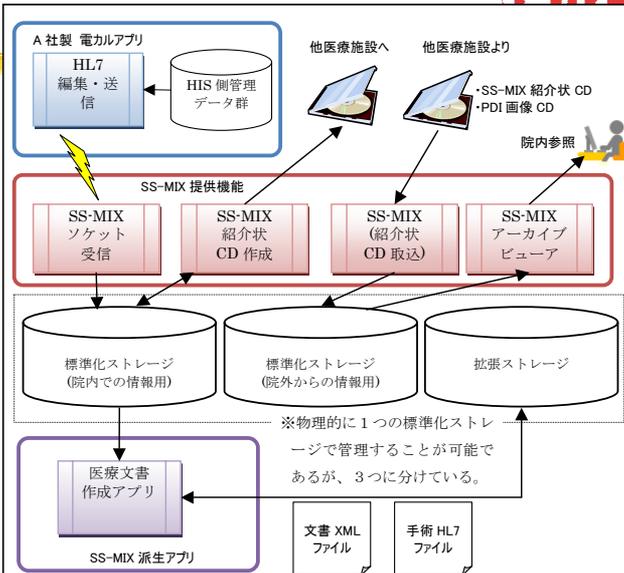


※ 標準ストレージ

- ☑ 院内HIS情報
- ☑ 院外からの情報

※ 拡張ストレージ

- ☑ EXCEL, WORD, PDFなど標準的でない情報置き場



Michio Kimura

# 標準化ストレージファイル構造

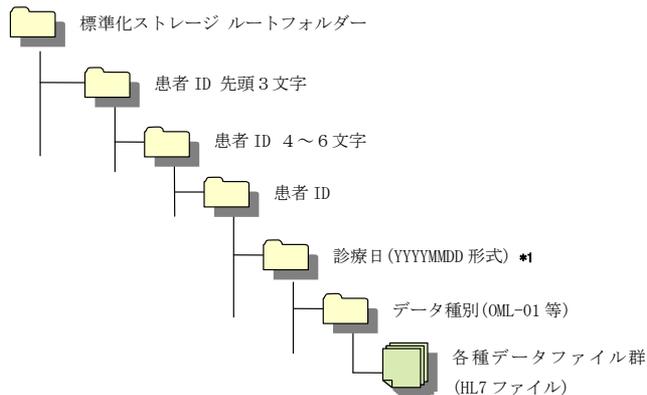
## 患者ID

年月日

種別

## データベースエンジン

は用いていない



\*1 患者基本情報等の日付管理できない情報は診療日に「- (ハイフン)」を設定したフォルダーに格納する。



Mich

# IHE Interoperability Showcase



シアターからツアーへ



PCD(care device)が拡大

# NHIN (National Health Information Network)



NHINにつながる  
50以上の  
アプリ

Michio Kimura



あるツアーの最後  
はFDA

中央にはNational  
Coordinator Office  
QAブース  
of Medicine

## Final remarks with old sayings

### ⌘ 朝三暮四 (列子)

- ☑ 目の前の利得だけでなく、後の利得も考える
- ☑ システム導入のソロバンは、そのシステムを使い終わるときまで分を考える

### ⌘ 君子和而不同、小人同而不和 (論語、孔子)

- ☑ 君子は個性を尊重しながら、和すべきは和する、小人は何のために合せているかわからず、付和雷同となる。

Michio Kimura M.D. Ph.D. Hamamatsu University School of Medicine

